



TOHOKU UNIVERSITY



東北活性研

公益財団法人東北活性化研究センター

# 震災からの復興・東北の底力

東日本大震災からもうすぐ3年がとうとうとしています。1000年に一度といわれる天災によって多数の企業が甚大な被害を受けました。しかし瓦礫の中から経営者たちは立ち上がり、自社の再建・復興のために、そして地域社会のために、新たな道を模索しながら前に向かって歩み始めています。まさに今、東北企業はその底力を試されているのです。一方、震災を機に起業家たちが東北に集まりだし、被災地に新たなビジネスや雇用を生み出そうとしています。これらの動きは一つの大きなうねりを生み出しつつあります。

当センターでは、2011年度より(公財)東北活性化研究センターと共同で「地域発イノベーション調査研究プロジェクト」を開始し、東北地域のイノベーターたちへのインタビューを行い、その軌跡と成功のポイントを調査してきました。2013年度は、東日本大震災後復興・成長を果たしたりイノベーションを起こしたりした11組織を取り上げました。イノベーション・カフェでは、これら企業から「復活する力」「逆境をプラスに変える思考」について学ぶとともに、皆様と東北の底力とは何かを問い直し議論していきたいと思っております。

地域発イノベーション・カフェ

# Innovation Café

## 2/28金

参加無料



### プログラム

■開催のご挨拶 (18:00~18:05)

東北大学大学院経済学研究科長 大滝 精一

■基調講演 (18:05~18:45)

## 東日本大震災からの復興 (事業転換への挑戦)

小野食品株式会社 代表取締役 小野 昭男氏



■ワークショップ (18:45~19:55)

参加者の皆さんには申込み用紙にお書きいただいた「興味ある事例」を参考にグループに分かれていただき、そこでコーディネーターより興味ある事例を含む2,3の関連事例を御紹介いたします。それら事例を踏まえて設定されたテーマについて(例えば「東北の企業の復活を支えたものは何か」「逆境をいかにチャンスに変えるか」「東北の底力とは何か」など)、参加者の皆さんとディスカッションする時間を設けます。

コーディネーター:「地域発イノベーションⅢ」執筆者

■閉会のご挨拶 (19:55~20:00)

東北大学大学院経済学研究科教授 地域イノベーション研究センター長 藤本 雅彦

■懇親会 (20:00~21:00)

懇親会参加の場合、会費として1,000円いただきます。



新刊



# 地域発イノベーションⅢ

2013年度のプロジェクトの活動成果である新たな11事例を紹介した本です。詳しくは裏面をご覧ください。



当日ご参加の方全員に本をプレゼントします。

主催：東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター 公益財団法人 東北活性化研究センター

お問い合わせ:東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター TEL.022-217-6265 FAX.022-217-6266  
〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1 エクステンション教育研究棟6階 e-mail:sympo2013@econ.tohoku.ac.jp HP:http://www.econ.tohoku.ac.jp/jirc/

地域発イノベーション・カフェ

# Innovation Café

## 震災からの復興・東北の底力

基調講演 (18:05~18:45)

### 東日本大震災からの復興 (事業転換への挑戦)

小野食品株式会社  
代表取締役 **小野昭男氏**

岩手県釜石市生まれ。大学卒業後、大手スーパー勤務を経て、父親の急逝に伴い事業を引き継いだ。昭和63年に小野食品株式会社を創業。全国のホテル、学校給食、外食産業への水産加工品の供給を通じて急成長を果たした。後に「三陸おのや」ブランドで通信販売事業に参入。東日本大震災では新工場が全壊するなど壊滅的な被害を受けたが、これを機に通信販売事業へ軸足を移し事業の再構築を果たした。



### 地域発イノベーションⅢ

2013年度のプロジェクトの  
活動成果である  
新たな11事例を紹介

当日ご参加の方全員に  
本をプレゼントします。

新刊



- 第1章 障がい者の戦略的雇用から始まる地域復興  
[株式会社アップルファーム(六丁目農園)]
- 第2章 水産業復興特区の活用によるかき養殖の復興  
[桃浦かき生産者合同会社および株式会社仙台水産]
- 第3章 逆境としなやかな事業転換  
[小野食品株式会社]
- 第4章 新たな醤油製造販売ビジネスモデルへの挑戦による復興  
[ヤマニ醤油株式会社]
- 第5章 地域の地域による地域のための「東松島方式震災がれき処理」  
[株式会社 橋本道路]
- 第6章 震災を機に、地域資源を活用した地域発展の牽引者へ  
[有限会社オйкаワデニム]
- 第7章 造船業から建築業へ、海から陸へのエヴォリューション  
[株式会社 高橋工業]
- 第8章 世界の窓にクールコーティング革命を  
[株式会社フミン]
- 第9章 風評被害を乗り越えた老舗旅館の静かなイノベーション  
[会津東山温泉向瀨]
- 第10章 企業イノベーションからソーシャルイノベーションへ  
[株式会社高田自動車学校]
- 第11章 専門家集団が牽引する地域デザイン・イノベーション  
[一般社団法人 ISHINOMAKI2.0]

※各事例の紹介は地域イノベーション研究センターのホームページをご覧ください。  
※興味のある事例を2つまで申込み用紙にご記入ください。

#### 開催会場

東北大学片平キャンパス  
エクステンション教育研究棟  
6階 講義室A  
仙台市青葉区片平2-1-1

#### ■片平キャンパス内拡大図



#### 公共交通機関をご利用ください

##### 仙台市営バス

仙台駅前11番のりばより  
霊屋橋・動物公園経由緑ヶ丘三丁目行/霊屋橋・動物公園・日赤病院経由八木山南団地行  
乗車→東北大正門前バス停下車(約10分、180円)  
仙台駅前12番のりばより  
霊屋橋・動物公園・西の平経由  
長町南駅・長町(當)行東北大正門前バス停下車(約10分、180円)

##### タクシー

仙台駅西口から約10分

### FAXお申込み用紙

申込み先：地域イノベーション研究センター **FAX 022-217-6266**

フリガナ 参加者氏名	所属機関・役職	
FAX番号	電話番号またはe-mail	
住所 〒	興味のある事例 第 章 ・ 第 章	懇親会(会費1,000円) 参加 ・ 不参加

※メールでもお申込みいただけます。sympo2013@econ.tohoku.ac.jp お申込み締切日 **2月24日(月)**

